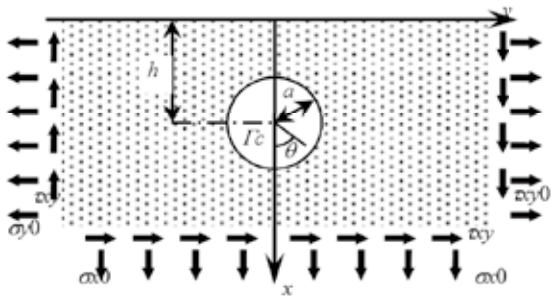
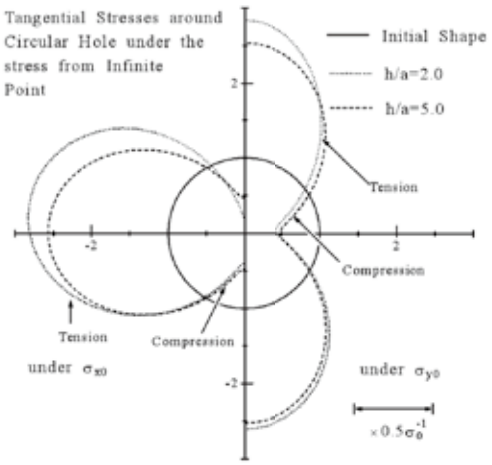
複素応力関数を用いた二重連結領域の力学解析

研究概要

【技術シーズ】
本研究は相互に干渉しあう近接する境界面を持ったリング断面，一円孔を有する半無限板などについて，複素応力関数を用いて解析手法を確率することを目的にしています。有限要素法などのようにメッシュに分割することがないので，メッシュの切り方によって誤差が左右されるようなことがないのが，この解析手法のメリットです。研究成果は日本機械学会論文集A編1報，第29回岩盤力学に関するシンポジウム(査読付)1報，材料3報，Structural Engineering and Mechanics 1報，Steel and Composit Structuers 1報の論文で公表しています。





企業メリット

キーワード
複素応力関数，二重連結領域，弾性学

主要な研究テーマ
・等方性および異方性の弾性学
・可視域および近赤外域衛星データの活用方法

技術相談に応じられる分野
・連続体の力学，衛星データの活用方法

利用可能な装置等
・データロガー，リモートセンシング画像解析装置

所属学科：都市環境デザイン工学科　　職　名　：教授
氏　　名　：堤　隆　Tsutsumi Takashi
Ｔ　Ｅ　Ｌ　：　　Ｆ　Ａ　Ｘ　：
Ｅ－ｍａｉｌ：tsutsumi@kagoshima-ct.ac.jp
所属学会：土木学会、日本材料学会、地盤工学会
研究分野（専門分野）：連続体の力学